

第48回全国ミニバスケットボール大会 マンツーマン・コミッショナー報告用紙

1. 担当者

コミッショナー氏名	都道府県名

2. 大会情報

大会名	第48回 全国ミニバスケットボール大会	試合区分	ミニ（男・女）
試合日	2017年3月 日()	コート・試合目	
チーム名	淡	HC氏名	
コーチ氏名	濃	HC氏名	

3. 警告頻度 【例：高坂 3回（7・10） 1回（7）】

チーム名	黄色旗回数（主なチェック項目）	赤旗回数（チェック項目）

=チェック項目=

項目	内 容
1	アイコンタクト、言葉のサイン、指さし等により誰とマッチアップしているか明確である。
2	マッチアップエリア付近からはマンツーマンディフェンスを始めている。
3	マッチアップエリア以外において、ピックアップするディフェンスを行う場合は、スローインするオフenseにマッチアップしている。
4	マッチアップエリア内のオンボールディフェンスは、ボールとリングの間に位置し距離は最大1.5mである。
5	オフボールディフェンスは、ボールとマークマンが見えるか、感じられるポジションを取り、ボールやマークマンの移動と共に動いている。※フェイスガードで守る場合はその限りではない。
6	ヘルプサイドのディフェンスは、最低限片足はヘルプサイドに置いている。※ヘルプまたはトラップに行く場合を除く。
7	オフボールのプレイヤーに対して数的優位な守り方をしていない。
8	ヘルプディフェンスのために一時的にポジションを変えた場合は、ヘルプディフェンス後は直ちにマッチアップが明確になっている。※オンボールのプレイヤーに対してトラップになっても構わない。
9	スイッチは、許される状況で行われ、スイッチ後は直ちにマッチアップが明確になっている。
10	トラップは、許される状況で行われ、トラップ後は直ちにマッチアップが明確になっている。

4. コミッショナー反省（振り返り）・・・どちらかに○を。

1. 特に特筆すべきことはなかった。 2. 以下の点が特に気になった。
--

5. 特記事項・・・MC主任と相談してご記入ください。・・・どちらかに○を。

1. 特記事項と思われる事例はなかった。 2. 特記事項と思われる事例があるので、報告したい。
--

MC主任氏名・都道府県名	
--------------	--

* 報告用紙の流れ 記入後→MC主任→技術委員→委員長 ・特に問題なければその日のうちで構いません。